新京日日新聞
夕刊
一月廿日(土)
定價 一ヶ月金一圓八十錢 郵稅 一ヶ月金五十錢
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 谷啓二郎

極東の情勢に對する疑心暗鬼の自己曝露
蘇聯外相の日本誣撃全文(四)

ソ聯外交人民委員長リトヴィノフ氏の日本誣撃の報告演說の全內容は以上で終つてゐるこの演說を通じて發見されるものは一個の國際的作僞である、善意に之を解釋すれば、ソヴィエートロシアの中央首腦者達は自己の胸中に幽靈の姿を勝手に描いてそれにおびえてゐるのだとも見られるのであるが、それが巧妙に仕組まれた國際的作爲であるといふ點は、日本の侵略といふ世界を僞瞞し易い言葉から演繹して北滿鐵道問題の眞實の經過を充分に知り盡し乍ら故意にその部分をカットし、北滿鐵道の權益が直接的攻擊に遭遇しつゝあるとか、ソ聯鐵道關係者に對し根據のない無法の要求がなされたとか、或は暴力的行動が行はれたとか、更に甚しきは日本に鐵道掠奪の意圖がある等々の何等根據ない事態の推移を極度に邪推、歪曲した攻擊の矢を放つてゐるからである

抑も北滿鐵道問題が滿ソ兩國間の懸爭問題と化した根本原因は

第一、北滿鐵道とザバイカル鐵道の通過輸送問題

第二、北滿鐵道所有車輛返還問題

の正當なる解決を求めるといふにあつた、この事實は當時の外交文書に依つて何よりも明かに證明されてゐる。然るに本問題に對するソ聯側の不誠意以上の不信、即ち問題の提起後に於てもソ聯側の車輛盜引は引續き行はれてゐたといふ事實は遂に滿洲國側をして滿洲里及び稍や遲れてポグラニチナヤの鐵道封鎖の擧に出でしめたのである、その後發生せる滿洲國側のソ聯鐵道關係者に對し執つた措置のすべては要するは北滿鐵道の經營が條約上に於てはソ支兩國の共同管理といふもその實權はソ聯側に完全に掌握されてゐたといふ歪曲された事態を本來の面目に是正し、これに關する從來の凡有る覆はれた不正を一掃せんといふ正しき方針の下に發せられたものであり、事實又その範圍を出でゐないものである、歪曲された事態を是正せんとする行爲に對し「何等根據なき無法の要求」云々の言葉が的外れであることは勿論である、この間四月十六日カラハン氏の通牒、之に次ぐ五月二日モスクワに於けるリトヴィノフ氏と太田大使の會見に於て「北滿鐵道問題解決の一策として北滿鐵道に於けるソヴィエートの一切の權利を日本に賣却讓渡したい」との提議あり、若干の曲折を經、日本の斡旋に依つて滿ソ兩國間に鐵道讓渡に關する交涉が東京に於て開始されるに至つたのである

北支將領の反蔣運動具体化
相呼應して起つ

(北京十九日發國通)蔣介石の南京政權打倒を目標として福建に起つた反蔣運動は最初相當の勢力を有するものとして各方面からその成行を注視され、當分は一地方政權として南京政權に對立するものと觀測されてゐたが今や中央軍の一擊に一たまりもなく潰滅し、その反撥力さへも失つた樣な形勢にある、斯く西南支那に於ける反蔣運動は斷末魔の喘ぎに陷りつゝあるが、一方北方支那に於ける反蔣運動は依然一個の妖雲として北支那の空を低迷してゐる、即ち北支に於ける反蔣主要勢力たる石友三、劉桂堂、河北自治聯合會並に反蔣派の概況を見るに

△劉桂堂の運動狀況

劉桂堂代表高琢章は目下天津に在り、反蔣運動を惹起すべく各方面と連絡中で、劉桂堂はこの擧に參畫すべく一月四日數百の手兵を率ゐ京津鐵路を橫斷、武清安次等に於て掠奪を恣しつゝ大運河を越へ別動大部隊は中央駐屯軍との衝突を避けつゝ津浦線に沿ふて共に大名府に向け移動中である

△石友三一派の狀況

現在天津に於ては邦人川島某等の斡旋に依り石友三、張作相、黃錫顯等の間に反蔣運動の協議纏まり近く烽火を擧ぐるものと見られ彼等の語るところに依れば、この擧に關し天津駐屯某軍參謀長及び某隊長の諒解を得、飛行機二臺の提供を受け、支那人若くば朝鮮人を搭乘せしめて事を圖るべしとの助言を得てゐると

△河北自治聯合軍

河北自治聯合軍は劉桂堂の南下、北京天津に於ける反蔣運動の勃發に刺戟され時機到來せりとて反蔣運動に着手したが、之に要する軍費百萬元の出所に惱み、孫傳芳の軍費捻出說も期待の價値なかるべしとて其の態度を決し兼ねてゐる、從つて本聯合軍の去就は目下疑問視されてゐる

△反蔣派要人の狀況

目下天津方面に於ける反蔣派要人は閻錫山の代表金孟學及び韓復榘、宋哲元、張作相、石友三、黃錫顯、劉桂堂等で彼等は極めて緊密なる連絡をとりつゝあり、反西北系に密使を送つて在北京同志を刺戟し具體的運動の促進を圖つてゐる

因に黃錫顯は近く元黃軍旅長王芝山の部下四、五千及び密雲懷柔駐屯中の石鳳明の部下九千五百を合し、其の師長になる豫定である

けふ上京の林滿鐵總裁
記者團と會見

(大連國通)林滿鐵總裁は二十日午前十時上京するが、十九日午後二時から總裁應接室で山崎理事立會の下に記者團と會見當面の諸問題に就き左の如く語つた

自分は明日「うらる丸」で議會出席のため上京するが別に滿鐵問題が出る譯ではない只前議會の貴族院で拓相が滿鐵の監督機關の設置を言明してゐるので、之が上程は實現されることゝ思ふ

滿鐵社債發行問題は去年二千萬圓の發行をみ、今年三千萬圓の社債を發行する件については目下滯京中の竹中理事が關係方面に奔走した結果、今日同理事から稍伴が來たので早速承諾の旨返電した、大體滿足な條件でまとまることゝ思ふ

附屬地の小學校を關東廳に移管するといふ東京電報の通信が來てゐるやうだが、何ういふことかはつきり解らない、自分としては滿鐵がやるのが一番具合よくいくと思つてゐる、殊に將來附屬地外邦人居住者が多くなれば附屬地よりも附屬外小學校の問題が起きて來るが、外務省がどんな肚であるか、現在の附屬地外小學校の滿鐵委託問題も結局豫算問題等から來てゐるのだらう、云々

次で滿洲產業開發問題及び移民問題等で總裁、山崎理事と記者團との間に個人的意見が交換され

大豆の海外輸出が漸減の形にある今日、農民としては必然的に作物の變更が必要となつてくるが北滿の小麥

南滿の棉花栽培は有望だらう、又大豆處分の一方法として大豆工業の擴張等も見越さる

移民問題も國內の治安が漸次完備されて來れば從來開發に偉大な力を致した山東苦力の移住も或る程度必要である、殊に早急なる開發を必要とする場合日本內地から姑息な移民手段では實行不可能だから農地開發問題、移民問題等は目下關係各方面で深く研究が續けられて居り、特務部、東亞勸業、大連農事等が現地に於ても愼重研究調査を進めてゐるやうだ

[illegible]つた

皇太子に『榮』の御印章を賜はる

(東京國通)皇太子殿下には御生誕後一ヶ月とならせられ宮中では皇后陛下の御床拂ひの御準備や皇太子殿下の賢所御參拜の御用意を進められて居るが此の程聖上陛下には皇太子殿下に對し「榮」と云ふ御印章を賜はり、側近者は感激して 天皇陛下も御幼少の「若竹」の御印章があり照宮には「紅梅」孝宮には「白菊」順宮には「菊櫻」の御印章を下賜されたと謹話してゐる右は御紋章にも似たもので皇太子殿下の御調度品衣類御誕生日の御下賜品には御紋章の代りに「榮」の印章を用ゐられるものである

全國有價證券總額
三百卅一億三千八百萬圓

(東京國通)東株調査―昭和九年一月一日現在の全國有價證券時價總額は左の如し(單位千圓)

株式	一七、二六八、〇〇〇
債券	一五、八七〇、〇〇〇
合計	三三、一三八、〇〇〇

前月一日より實に十二億八千七百萬圓の大値上りである

日本製輸出罐詰
腐敗を理由桑港で押收

(サンフランシスコ十八日發國通)聯邦食料品醫藥監査局サンフランシスコ出張所長、ダイ、モウントンは十八日日本製鮪罐詰七百箱を腐敗して居るとの理由で押收した旨發表した、曩にも千五百箱の日本製鮪罐詰が見本檢査の結果押收されたことがあるがモウトン所長は今回押收した罐詰の鮪は罐詰にする以前既に腐敗しかけて居たものだ但し腐敗して居るか何うかは專門家でなければ解らないと語つた

廿一日から大寒

明二十一日は大寒の入りである、新京の日出は午前七時八分、日の入午後四時三十三分あと二週間すると寒があける譯である

頭道溝局の賀狀總數
百廿三萬突破

新京頭道局で扱つた本年度の年賀郵便取扱總數は百二十三萬六千九百七十四通、その內譯は引受は十二月十五日より三十日までに七一三、〇六四(年賀特別取扱)、三十一日より一月十日迄九八、〇九六計八一一、一六〇で配達は一月一日より十日まで三二四、四四七、繼送は十二月十五日より三十日まで一一一、一六七、合計一二三六九七四である

新電話簿
一月末配布

新京電話局が毎年一月一日現在で各加入者に無料配布する昭和九年の電話番號簿は目下印刷を急いでゐるので二月末までには配布できる豫定である

日滿悲曲 生命線を行く(七十一)
國友雄吉 (荒川芳三郎畫)

月夜は禁物

「はゝゝゝお體を大事になんて、軍人はさふは行かないよ。軍をする者は、體を大事にばかりして居られないからね。つまりマア、今日あつて、明日無き命といふ奴さね―」

さう言つて、中尉はまた笑つた。その中尉は、玄關前の階段の處に佇んで、長劍を杖づくやうにして、チット空を見上げてゐるのであつた。武人に相應はしい、凛々しいその面上に、限なき月光を浴びてゐる。しかし、その瞳は、何かの思慕に燃えてゐるやうだつた。

「軍人は、戰死をするのも名譽でせうが、命を大切にして、國家の爲に永く盡していただくのも、やはり名譽ではありませんか」

「違ひない。さうだつた―どうも此の月夜といふ奴は可かん。月夜は、僕には禁物だ。月を見ると、いつでも僕は弱蟲になつてしまふ―いや/\、生きるも死ぬるも時の運だ。擊てといつたところで、支那兵のヒョロ/\彈ではね。はゝゝゝ、マア/\働けるだけ働くのが、やはり我々の本分なんだ」

中尉は、さも感慨深さうに言つて、いきなり伸一の前に手を差し伸べた。

「ぢや、左樣なら―」

「左樣なら―」

二人は、固く/\握手した。

遙かにラッパの音が、月光と靜寂の夜空に鳴りひゞいた。

伸一はやがて、中尉と別れて、衞生隊の宿舍へ歸つて來た。其處には、彼のために、温かい床さへ設けられてあつた。これも皆、千原中尉の厚き心づけの賜ものと、嬉しさに思はず涙が滲んだ。

しかし、雪の中で、寒風に吹き曝されながら、歩哨に立つてゐる兵士のことを考へ、わずかの焚火のそばで夜を徹してゐる軍隊の勞苦を思へば、伸一は、その床に橫たはるのさへ、勿體なくて、罰が當るやうな氣がした。

床に橫たはつてからも、伸一は、しきりに考へ續けるのであつた。伸一は、まだ、滿洲里何を、

てゐるのではなかつた。どんな風に考へてみても、市子や茂彦は、まだ滿洲里に殘つてゐて、自分の歸つて行くのを、待ち詫てゐるやうな氣がしてならなかつた。

戶外には、ラッパの音が、間斷續して聞えてゐる。轟々と大地を蹴る馬蹄のひゞき。驅け違ふ將士の靴の音などで、あたりには次第に、物々しい騷々しさが漲ぎつて來た。

それ等の物音をヂット聞いてゐると、伸一の身內にも、ゾク/\と勇氣が滿ちて溢れて來るやうに感じた。そして到底靜かに橫たはつて居られなくなつて、いつかムツクリ起き直つて、床の上に坐つてゐた。

またしても、思ひは、滿洲里の空に馳けて行く。

茂彦が―母に抱かれた茂彦が高く手を差上げて、力一ぱい呼びかける。

「お父ちやーん!」

夢だ―現だ―幻だ。

伸一は、どうにもかうにも、我慢ができなくなつてしまつた。そして不圖、さつきの中尉の言葉を思ひ出した。

「生きるも死ぬるも時の運だ!」

―さうだ、もし二人が、日本へ歸つてゐるのなら、何時かキツト、會へる時が來るだらう。それに反して、若し滿洲里に留まつてゐるとしたら。―これから、兵火の巷と化するであらう、その滿洲里でないか―、或ひは是れきりで、再び會ふことができなくなるかも知れない―さうだ、やつぱり行かう、滿洲里へ!」

伸一は、いつか床から滑り下りて、戶の隙間から、ソツト覗いて見ると、出動命令は、やはりこの衞生隊にも下つたと見え、一同はその準備を急いでゐる。

この忙しい中で、一秒間の時も、一兵の勢も貴とまれる場合に、足手まといの自分のやうな者が、徒らに世話を燒かしてゐることは、甚だ心苦しい次第であると、さう思つたら、伸一は、こゝに便々としてゐることすら、苦痛になつて來た。

溥儀皇帝の下に萬古不易の帝制施行

天命と民意に基き 大滿洲帝國うまる
三月一日の記念日に即位

溥執政天意に順應し三月一日皇帝に即位帝制を敷かれるに決せる旨本日滿洲國政府より正式に表明され、午後四時記事解禁された

東亞の新星として榮光に輝く王道樂土滿洲國は三月一日の建國第二周年記念日を期して萬古不易の帝制を施行、德望高き溥執政は順天安民の天意に基き全滿に澎湃として起る三千萬蒼生の歡呼に迎へられて建國史上に銘せらるべき壯嚴極りなき即位の大典を執行、新興滿洲國第一代皇帝の榮位に即き、嚴として搖ぎなき王道滿洲國の國礎を定め、こゝに新國號も輝かしく『大滿洲帝國』と改め、建國の理想たる萬民協和の實現に躍進することゝなつた

登極の大典は 三月一日午前十時
假皇居は執政府
質素な大典式場

三月一日郊祭の大儀に引續き午前十時より新裝なれる假皇居勤民樓の階上西側に設けられた式場に於て國家至高の儀式たる新帝登極の儀が行はれるが、この大儀には鄭國務總理以下各院長、各部總長、各省長、各省警備司令官其他特任官以上の高官並に唯一の承認國たる友邦日本政府代表者菱刈全權大使其他が參列の上嚴かに行はれる尚當日の參列者の服裝は新帝の御内意もあり殊更特定の禮服等は規定されず、滿洲通常禮服、燕尾服乃至モーニングで差支ないことになつて居る

新帝の宮殿は別に新築されるが、これが完成迄は現執政府が其まゝ假皇居に充てられ、三月一日の登極、二日の朝見賜餐の三儀式も執政府内の勤民樓上に於て嚴かに擧行されることゝなつたので、執政府に於ては清水、三田兩組の手で式場の準備並に各門の造營等を急ぎ、百余名の工業關係者は目下晝夜兼行の有樣で、諸工事は遲くも舊正月迄には完成を見る段取りになつて居る興運橋を渡つた橋畔に新築中の第一の門はその名も床かしく長春門と命名され、門の正面には新帝の御紋章たる五辨の蘭花が鮮やかに浮き出される

長春門から廣場を過ぎ双龍珠を爭ふ浮彫のある興運門を潜り迎暉門を潜り勤民樓西南に新築された承光門に至る勤民樓の階上東側は全部之を改造、一室として大典式場に充てられ、北より南向きに玉座を設ける事となり、西側階上も大改築を施し、控室食堂に當てられるのだが、何れも極めて手狹まで如何にも新帝の御質素の程が窺はれて却つて奥床かしい感に打たれる

帝制實現で 好轉する國際關係
新しき認識を呼び覺す

建國以來政治的にも豫期以上の目覺しい進展を示しつゝある滿洲國が愈よ來る三月一日の建國二周年記念日を期して滿洲とは歷史的に因緣深き溥執政を皇帝に戴き、東洋政治思想の本來の面目に立脚せる理想的帝制政治を敷くに決定せることは世界的不況とデモクラシーに行詰れる各國に一大衝擊を與へたと同時に歐米各國の滿洲に對する新しき認識を呼び覺させるに至つた則ち滿洲國が建國以來の政治理想に基いて王道政治の極致たる天意による帝制政治を敷きその理想を具体化し、完備せる獨立自主の王道國家の本質を完全に具備するに至つたことは從來稍ともすれば、滿洲國の成立が日本の大陸政策の派生的現象の如く思はれてゐた世界の誤解を一掃したばかりか、その内政上に於ける著しき進捗と相俟つて國際的信用を愈よ高めると共に、國際上の事實的關係から滿洲國承認の氣運は帝制の實現を一轉機として好轉し來るものと一般に觀測されてゐる

新帝の即位は 天の啓示具現
民意に非ず復辟に非ず

溥執政が滿洲帝國皇帝に即位されるに決定を見たに就て滿洲國當路は左の如く語る

執政は建國以來深く天意の存する處を体得し順天安民の仁政に力められた結果内治外交の實績大いに擧り

〓諸政〓の改善著しきものあり外善隣日本との友好關係は益々敦厚の度を加へつゝある、つらつら今日迄の驚異的政績を觀るに、滿洲國が天命に順依し執政の明德天意に感應するにあらざれば期し得ない處である、執政が正に帝位に即かれ、滿洲國の國礎を泰山の安きに置き、建國の理想を伸べられることになつた事は全く天の啓示が現した結果として誠に意義深く感ぜられるのである

帝政實施の曉と雖も建國宣言に盛られた建國の大理想は嚴存し永久に變らず、帝位に即かれる事は純然たる皇帝中心主義の政治を具現するものであつて、全然皇帝を取卷く側近者の獨裁政治たりし彼の清朝の復辟で無い事は言を俟たない、此點を特に誤解無きを要する點である、滋特として全滿の天地を蔽ふた帝政謳歌運動は即ち天命具現の一つの表徵であつて民意によるものでないから主權在民の思想は斷然排擊さるべきは

〓勿論〓である、新帝即位に關する各種の典儀は新國の面目を躍如たらしめ、嚴肅なる中にも質素を旨とし、而して五族協和の精神に背かぬ樣執行される事になつてゐる、滿洲國の國体變革が滿洲國自体は又國際的に日滿關係に如何に重大なるかは詳說を要しない所であるが、國家的存立を一層明確にする帝政の施行により列國の滿洲國承認は著しく促進されるであらう

即位三大典

嚴かなる新帝即位の大典は郊祭、登極、賜餐の三大典に分れ、天を祭る郊祭は三月一日午前六時順天廣場の式場で行はれ、登極と賜餐は共に現執政府内勤民樓々上で擧行、前者は一日午前十時、後者は二日正午の豫定である

御登極前後の 首都内外の大警戒
二段三段のかまへ

式典當日、並に式典に至る間の首都及び首都附近の地方部落の警戒は殊に嚴重に行ひ、新京を去る五滿里の外周に臨時派出所十七ヶ所、十二滿里の外周を遊動騎馬隊で、警戒不良分子の首都侵入を防ぐと共に、首都にあつては日滿軍憲により執政府沿道式場の警戒はもとより市中要所々々に臨時派出所を設け一方期間中斷へず防火設備の檢査、旅館料亭の調査、防疫を行ひ、不詳事件の發生を防ぐことゝなつたが、警備本部は首都警察廳内におき、水も洩らさぬ大警戒陣を張ることゝなつた

皇帝即位により
國體的にも王道國家完成

滿洲國建國第二周年の記念すべき三月一日、執政は順天安民の天意に基いて滿洲國第一世皇帝に即位遊ばさるゝのである、かくして王道國たる滿洲國は國體にもその

〓完全〓なる成立を遂げるのであるが、抑も滿洲國の建國の精神は王道國家の建設にある王道國家はまた天意に基く皇帝を奉戴することによつて始めてその目的を達成されるものであることは王道國家の政治思想は敬天の思想と不可分のものであるからである、そして帝は天意によつて則ち蒼天を主宰する上帝に代り蒼生を治められるものである、換言すれば天道に順つて民を安ずるところの天の子則ち天子である、こゝに順天安民の天意に基ける滿洲國一世皇帝登極の意義がある同時に西洋の物質文明に發達した政治思想の一つたる民主々義とは全く對蹠關係に立つ譯であつてここに東洋傳來の深遠なる政治思想が面目躍如として發揮された譯である、そこで東洋政治思想上に於ける最古の、そして嚴然たる意義をもつ

〓天意〓とは何か、それは人類最古の思想史に現はれた敬天の思想則ち天命論にその根據を求めることが出來る、遠い遠い有史以前のずつと遠い時代、人類が原始の搖籃の中に眼ざめた頃、天體の現象、則ち日月星辰、雷雨、嵐風などの天體の現象こそは人類にとつて最大の恐怖でありまた敬畏の對照であつた、それは太陽の悠然として昇る姿の中から美の感情が生れ、詩と藝術が生れたと同樣に、又、夢でさへが上帝の仕業かと思はれたのである、そしてそこには之を主宰する上帝があるといふ風に傳へられ、かくてこゝに天を敬するの思想は人類最古の思想として發生し傳來したのである、人類が原始の森林を出で、遊牧の業を營み、更に定住の地を求めて

〓農耕〓を業とするやうになつてから天體の現象はいよいよ強く密接に人類の生活と交涉をもつて來た、疫病のために家畜は斃れ、水害、旱魃などに人類は饑饉に脅かされたのである、かくして上に對する畏怖の念は愈よ深くこゝに自然界と人間界の事との間とを結びつけて考へる思想は一段と發展し人間は天意に逆ふことなく、天意を奉じてその道に順ふべきであるとの思想がいよいよ強く刻みつけられたのである、この敬天の思想はやがて統治者の上に反映し一つの政治思想を生んだ、則ち統治者則ち邦國統べて行くところの王者は天の子である、上帝に代つて邦國を統治すべく

〓天意〓によつて授けられたものであり、又授けらるべきものである、則ち天命によるべきであるといふ思想が生れたのである、この政治思想は思想上に於ける東洋の母胎たる支那では五千年の長きに亘つて傳來して來た儒教精神の本髓である、之を文獻に見るに尚書には「天は下民を降し之が君となし師となす」とあり、程子の易傳中には「王者の興るや命を天に受く故に世の易る之を革命といふ」とある、則ち易世革命は之亦天命によるものなのである、さて天意は如何にして具現されるか、尚書には「天の視るは民の視るに從ひ、天の聽くは民の聽くにあり」とある、一般人民の意見が天意を代表するところのものである、故に民意は民意にして天意であるとの信念が植えつけられてゐるのである、だから

〓匹夫〓と雖も多くの民心を得れは天意に適ひ帝王の位に登り得るのである、それと全く逆のことも言ひ得るのである同時に王道政治の理想とする禮讓といふことも生れて來るのである、この邊に日本國民の皇室に對する思想とは全く異つた姿を見るのである、さまれ、敬天の思想に根據を求められる天意による君主政治においては人民は君主を天子として衷心から仰慕しその德政の下に統治され敎化、敎導されるものであり、君主は上帝（政治上の眞）に對し責任を負ひて飽くまでも德政を敷き萬民協和の

〓政治〓を實踐してゆくといふ道德的繋りにその深い意義を存するものである

數奇を極めた 新帝の御半生（上）
―深刻な荊棘の路―

新興滿洲國第一世皇帝に登極遊ばされる新帝は天資英邁、御生れ乍らにして聖明の德を備へられた御方であらせられるが、その御半生を謹記すれば洵に數奇の運命のそれであつた、その踏まれた跡よりも深刻な荊棘の路、それも今にして憶へば三千萬民衆から「吾等の皇帝」として敬仰さるゝ今日の慶ばしき日のために天が啓示した尊い修道であつた

帝は一九〇五年（光緒卅一年）光緒帝の皇弟にあたる醇親王の王子としてその王府深く誕辰遊ばされたが、御年三歲にして光緒帝崩御の後を承け清朝第十二世の皇帝に登極遊ばされ、一九〇九年を以て宣統元年と改元、茲に清朝の大統を嗣がれ醇親王攝政となり萬機を親裁された

その當時の支那の政情は戊戌事變の直後であり、中歐列強の對支侵略は虎視眈々として其の爪牙を磨ぎ内はまた一方に君主立憲に根據を置く康有爲氏の變法自强論、勸學篇の著者張之洞氏の改進論あり他方孫文一派の自由民權論もあり、國會の開設、憲法の發布を要望する聲は朝野に滿ちてゐた、されば清朝に於ても既に豫備立憲の上諭を下し憲政考察大臣を海外に派遣し專制政治から君主立憲政體への移行に鋭意努めてゐたのであつたが曩には朝廷の重鎭であつた恭親王を失ひ、今また光緒帝、西太后相繼いで崩御され、治政上一方ならぬ難コースに遭遇してゐる過々、武昌の一角に起つた宣統三年十月の政變は幾許もなく清朝の恩寵を蒙れる怪傑袁世凱氏の活躍となり、茲に清朝の治政十二代二百六十有八年にして一九一一年帝は「支那の共和政体は帝の好意によつて特に承認せしめたものである」との意旨を明かにせる退位の上諭を發せられた

□……□

皇帝の尊稱と君主に對する待遇とを依然國家から受け、歲費四百萬元の支辨をうけられて宮苑の奥深き紫禁城裡に退位後の生活を送られることとなつた、紫禁城に於ける幼帝の生活は三百年の朝恩に浴沐せる遺臣にとつては限りない哀愁の種でもあつたが、又幼帝の御成育につれ發揮さるゝ天稟の御聰明は彼等遺臣をして默視するを許さぬものがあつた、かくて民國六年六月徐州に於ける北洋派軍閥會議の決議を携へて入京せる張勳氏によつて七月一日午前五時幼帝を擁立する清朝の復辟が決行され、北京全市街は瞬間に黃龍旗に彩られ旗人の群は欣喜雀躍して清朝の再生を喜んだがそれも短かい一齣の戲曲に終つた

□……□

幼帝の紫禁城生活は復辟の失敗とは沒交涉に依然續けられた、帝は碩儒陳氏を師傅として經學、殊に王道學を學ばれ、又英人ジョンストン氏について世界史を、後年更に新國家として支那大學生間に嘖々たる名聲を謳はれた北京大學敎授胡適氏に支那哲學並に西歐の思想史を學ばれた外幾多の遺臣から天文、地理、金石其他古今の學術に關する幾多の進講を受けさせられ少年時代の宮苑生活の無聊を學習と精神修養に精進された、十七歲の春、さまざまの意味で思出深い辮髪を斷たれその年も逝かうとする十二月一日前清直隸北道々台榮源氏の娘君鴻秋姫を妃に迎へられた、この大婚の式典は清朝時代の皇帝の大典に則つて行はれ盛儀を極めた、淑德の譽高い后妃との濃やかな生活が學習と修養の單調な生活の中に美しく織込まれて、宮廷の深宮は詩美に彩られたが、やがて帝の御身邊には詩よりも哀しい運命が待ちまうけてゐた

幼にして 名君の閃き
新帝を語る川島浪速氏

（長野國通）滿洲國帝政の最初の提唱者川島浪速氏を當の信州黑姬山麓上水内郡信濃尻村なる山莊玄此庵に訪へば善隣滿洲國、帝政宣明は芽出度き限りで僕自身にとつても多年の抱負が具体化されたわけで感慨而涙下の心境だと嬉しがり、談をはづませて宣統帝　想出を語るのだつた

宣統帝は五、六歲の頃帝位に即かせられたのであつたが幼にして名君の資が閃めき十五六歲になられた時に支那宮廷に弊害の根を下して居る内侍の追放を主張されたものだつた近臣が永い慣習であるから、一氣に斷行することは難事であると申上げると然らば予は宮廷に居らぬと主張を曲げなかつた、僕はこの方は平凡ではないと感服した次に十六七歲の時だつたが、醇親王の葬儀を北京で營むに際し帝室から祭祀料千兩を支出するの案を見て親ら二の字を書き加へ二千兩とした又諡は忠を第一番とし誠を第四番として居るのであるが、醇親王の　に誠の案を出すや又之を消して忠の字を書いたのだ、僕は益々感激してしまつたものだ、斯ういふことは凡人には出來ない業である、天津で暫く振りでお會ひした時のこと「君下は馬に乘れるか」と突然の質問があつた、僕は「元來馬は大好きです」とお答へ申した處非常に喜ばれた、後に至り僕は妙な質問だなと考へた末馬の上の姿態が出來るかとは、貴下は健全なりやの意であることに思ひ付き意味深い御質問振りに愈よ感服するばかりだつた

尚執政に位されてからお會ひ致した時漢の高祖の還鄉の美談を引例し「余も還鄉したが高祖のそれとは全く意味を異にする、高祖はすつかり仕事をして後還鄉したのであるが余は還鄉の後これから事を爲さうとするのである」といふ覺悟を披瀝された「ほんとうの日滿親善は心と心の結托である」とも言はれた、學識も深く、しかも聰明をてらはない處に偉さがある、滿洲三千萬民衆はこの良君を推戴して大福である

次いで川島氏は話頭を轉じ世間これを復辟運動と誤謬するものあるは遺憾である復辟とは一國の君主が一時政權を失脚し再び復權せる場合の名稱である今は別に一國が創立されその帝位に即かせられたもので復辟ではないと說明を試み

僕も若ければ野心があらうが今更にない、僕は僕の主張が通つたので滿足だ、只滿洲の指導保護に當る日本人につけ上るなといふことを警告するものである、滿洲三千萬の向背は全支四億民衆の向背に係る滿洲は日本の生命線であり日本が皇道精神を世界に宣布する天業實現化の第一着手であることを一刻も忘れてはならぬ

と力強く語つた、尚川島氏と十三歲の時から起居を共にして來た肅親王の遺兒例の男裝の麗人川島芳子さんの妹廉子（二二）さんは

滿洲國の帝政宣明は心から嬉しく思ひます父（浪速氏）は私が日本人になると位かなくなつてしまふぞと言はれますが私は日本人になり切る決心です、それは父を慰めるためです、今度鄉里に參りましたらば祖先の墓に參りをしたいと思つて居ります

とけなげな心情を語つた

内治外交各般の 新政策確立
力強き國際場裡への第一步

滿洲國政府は帝制確立を劃明として新たに政治、外交、財政、經濟政策を樹て、大滿洲帝國の威容を整備し、力強き第一步を踏出さんとしてゐる

△政治

君主政体の確立を明し、根本的に中央、地方行政制度を刷新し、名實共に中央集權の實を擧げると共に國内産業開發に專念し、又交通網の擴張、整備、敎育制度の確立を圖り、新文化運動により王道樂土建設を促進治外法權の撤廢を目標に司法制度の整備、諸法規、法典の制定を急ぎ「安民」の理想實現を期して警察制度の改善、充實につとめ、地方治安維持を確立し、又全滿國防の第一線に立つ滿洲國陸海軍は、新皇帝を大元帥と仰ぎ、全國軍を大元帥の直接統帥下に置き、全滿十余萬の常備軍を統帥邊境の護りを固くする

△外交

建國宣言を再高唱し國際信義を基調として門戸開放、機會均等の二大原則を持續すると共に對日ソ支乃諸邦との國交友好關係整調に全力を傾注、極東平和の確立を期する、殊に唯一の承認國日本に對しては日滿議定書の大旨に基き共存共榮の實を擧ぐべく兩國關係の一層なる緊密強化を圖り隣邦ソ聯に對しては互にその主權を尊重し、滿ソ間の懸案となつてゐる北鐵讓渡交涉も互讓的態度により解決を促進、圓滑なる滿ソ國交關係を持續する、更に支那に對しては東洋平和の大局に立ち、何時にても友好關係回復の用意ある態度を以て臨む方針である

而して對歐米外交政策は滿洲國の實体認識を根幹として承認問題は第二義的のものとなし滿洲國獨自の外交政策遂行に一路邁進する

△財政

日滿經濟ブロック強化を圖り、國内産業の根本大綱を樹立すると共に、國家財政の確立を期し、國稅、地方稅の整理を斷行、國民負擔輕減、合理化を圖り、建國以來全力を注ぎ來れる全滿幣制統一を完成し、本年六月末迄に舊紙幣並に私帖の回收を完了又金融制度を整備して地方經濟建設を助成する

喜びを語る人々

佗しかりし　廢帝の昔を語る

池部ミツ子未亡人の懷舊

（東京國通）滿洲國三千萬民衆の翹望を容れて帝位に即かせられる溥儀氏の巡り來し春を仰いでは、餘りにも波瀾萬丈の御運命に佗しかりし廢帝の昔を思ひ出し、陰乍らも懷舊の涙に咽んで居る女性がある

大正十三年十一月廿九日奉直戰後行はれた馮玉祥のクーデターに依つて廢帝の御身を紫禁城に閑居遊ばされてゐた溥儀氏はその閑居の宮殿をも遂に逐はれる御身となつたこの時、時の政府の意志をも押切つて日本公使館に迎へる話に大芝居を打つた芳澤謙吉公使の下に三等書記官をしてゐた故池部政次氏（熊本縣菊池郡菊池村出身）の未亡人ミツ子さんこそその人である

帝制の報を齎らして世田ケ谷區若林三三二に池部さんを訪ふと

ほんとうにめでたいことで當時を思ふと夢のやうな氣がします

とポツリポツリと懷舊談を語るので彼女は清朝秘史を語るのであつた

宣統帝が公使館へお出でになつた日はさても蒙古風のひどい蒙塵といふ文字をそのまゝのやうな日でした、御供は師傅の陳寶琛たゞ一人、帝は普通の脊廣に黑眼鏡といふ御忍びの姿でした、馮玉祥のクーデターで一旦父君の醇親王のお邸へお立退きになつたが、そこも危險であり一つには父君に迷惑のかゝるのを御心配になつて給傳師傅の陳さんが池部の師にも當るので種々打合せの結果、公使館に迎へる事となり帝は散歩に出掛ける風をして着のみ着のまゝで公使館へ見えられたのです、二、三ヶ月過ぎ「皇后陛下と今は御離緣になつてゐる姫の御二方も公使館へ來ましたが、これは芳澤さんからも支那政府に交渉し、池部がお迎ひに參りました、その時帝も皇后も御年二十で實にお氣の毒でした、帝の師傅は陳さんと鄭孝胥、羅振玉の三人でしたが當時お側には陳さん一人で、公使館へ落着かれてから家來達も追ひ／＼集まり今日本に來る溥□さんなんかもよく見えられました。公使館には約三ヶ月居られて天津へ行かれましたが、一日として安らかな日も無く、天津へお立ちになつた後でベツトの下を調べるとピストルが二挺ありましたので、皆帝の心中をお察しして眞に氣の毒に思ひました、天津へお出での時はたつた御一方で日本人に變裝され池部が汽車までお送りしましたが、流石に心細がられて涙を流されたさうです、汽車は三等ですが、支那の汽車は二等が日本の三等よりも惡い程ひどいもので、而も帝は生れて初めての汽車だつたのです、汽車には馮玉祥の兵隊が一杯乘つて居たので池部がわざと「この人は日本人だが賴む」といつてその箱にお乘せしたところが兵營のある豐臺で調べて「こゝは兵隊の乘る所だから向ふへ行け」と外の箱にやられて無事だつたとの事です

この豐臺さへ通過されゝば大丈夫なので皇后樣はじめ皆その時間の過ぎるのを心配して待ちました

途中御無事で天津のヤマトホテルに入られたといふ御通知があつたので、皇后樣と姫もけがれることになり帝、妾しにといふお話でしたが、妾しは恐いものですから池部が御送りしましたこの時は御一方とも滿洲風の髮をすつかり辮髮にし、池部が友人の妹といふことにしました

その年の四月妾達は日本へ歸ることになつて天津にお暇乞に行きましたが、非常に喜ばれて御手づから盃を賜はり、色々な品を頂戴しました、今でもお附きの人から時々便りを戴きます

令弟溥傑氏　及潤麒氏同夫人の喜び

（東京國通）三千萬滿民の熱望に依り三月一日滿洲國皇帝に即位する溥儀執政の令弟溥傑氏を杉並區高圓寺九三九の清水武雄氏邸に折柄の日曜日に歸宅した陸軍士官學校步兵科に勉學中の溥傑氏及執政夫人の令弟で騎兵科の潤麒氏並びに同夫人にして溥傑氏の令妹韞穎夫人を訪れると步兵軍曹と騎兵軍曹の肩章の輝く軍服をつけた兩氏並びに滿洲服を身に纏ふた美しい夫人は流石に包み切れぬ喜びに瞳を輝やかし乍らハキハキした流暢な日本語で交々語る

學校の方で感想は禁じられてゐるので、何も御話しすることは出來ませんが、兄が滿洲國皇帝となる事は滿洲國民と等しく慶びに堪えない次第です、永い間國民黨からの迫害と拘束から脱して漸く輝かしい太陽を宗祖の地滿洲に見出した樣なものです、三月一日の即位式當日は麻布櫻田町の公使館に行はれる即位式祝賀に參列し、新京の兄には祝電を發し、今夏の夏休みには是非三人連れだつて兄を訪れるつもりです、兄からは別に皇帝即位に就ては何も通知がありません、唯先日心盡しの羊肉と滿洲菓子を送つて來ました

來年六月士官學校を出たら以前勤務した赤坂步兵第一聯隊と世田ケ谷騎兵第一聯隊に勤務することとなるでせうが私共は大學迄進んで勉強する覺悟で居ります、兄が昔に還つて滿洲國皇帝となるのも三千萬民衆の熱望によるものであるが、日本國民の友邦としての援助に深く感謝する次第です、日滿兩國は飽く迄車の兩輪の如く相提携して、東洋の平和ひいては世界平和のため努力すべきで、私共は飽く迄日滿兩國の緊密に最善の努力をする覺悟です

東洋平和の前途洋々

本庄繁大將談

（東京國通）溥執政は天資頗る英明で滿洲國の統治者として短時日にも不拘よく治績をあげたが愈よ天意に依て皇帝の位に就かれる事は滿洲國の國礎も鞏固となり又新國土の人民の幸福の爲めにも洵に慶祝に堪えない、殊に滿洲國に最も緣故の深い清朝の系統の由緒ある執政が、全く新しい滿洲國の統治者として君臨し王道滿洲國を完成される事は東洋平和の前途洋々たるものがある、友邦滿洲國に繁榮と幸福が彌增して將來する事を祈つて止まない（寫眞は天津時代の兩陛下）

東洋永遠の平和へ　帝國政府の助力

日滿關係愈よ緊密

（東京國通）執政帝位に即かるゝ茲に滿洲國は主權の確立を見るに至つた、右に對する帝國政府の根本的對滿方針は一昨年九月十五日締結された日滿議定書の精神に基き、お互に領土權を尊重すると共に、共同防衞の責任を擴充し、以て東亞永遠の平和を確保すべく一層の努力を傾注するにあつて何等の變更はない、然し乍ら滿洲國は建國未だ三年にして今後に殘された重要問題山積の狀態であるに鑑み、帝國政府は飽く迄之を援助し、眞個の獨立國に育成すると共に更に一層兩國親善に向つて邁進すべく決意して居る、即ち帝國政府としては

一、帝國政府は日滿議定書により所要の兵力を駐屯せしめ外敵防禦、治安維持に當りつゝ同國内諸般の産業開發に力を注ぎ國富增進に協力、内治の改善を計り以て日滿經濟ブロツクの形成を期す

一、列國は未だ滿洲國未承認なるも滿洲國は飽く迄門戸開放、機會均等主義なる事を知らしめ、世界の誤解をとき、萬一滿洲國を脅威するが如きことある場合は帝國として敢然これを排除する用意を有す

一、帝國政府は東亞の平和保持の重大なる責務を痛感し滿洲國、國交の益々敦厚ならんことを企圖しつゝ隣邦ソ聯、支那との親善關係の樹立を最終の目的とするにある

めまぐるしいけふの國務院

鄭總理の面上にも　サツと喜びと緊張の色

けふ帝政實施發表當日の國務院は早朝から高官達の自動車が繁く出入し在京新聞社、通信社記者は

＝高官＝の後をつけて國務院内へかけこむ、情報處は走り廻る、刻々と本社へ報告するベルの音、かくて午前十時から國務總理を始め遠藤總務廳長各部總長が集まつた會議室で帝議をこらすこと、その間約一時間半の長きに及んだ、國務院前庭には十數台の自動車は所狹きまで車輛を並べ、新聞通信社記者、寫眞通信社の連中は會議の終るのを今かくと待ちあぐんでゐる、やがて午前十一時三十分鄭總理が會議室から出て來た例の帽子に毛織の首捲に身をかためた

＝總理＝の顏はこの日はいつもに變る明るい顏で、自動車のそばでカメラの連發をうけて執政府へ向つた、その後を追つかけてゆく新聞、通信社の連中も目まぐるしい程である

燦然たる　新帝の愛刀

新皇帝の魂であり、護國の寶刀とも言ふ可き軍刀は豫ねて東京新橋五丁目の蒔屋に直々用命中の處昨年末完成、早速執政府に納められたが、此の刀は日本古刀備前眞長刀渡さ二尺三寸ハバキは金作りの名刀で作りは陸軍軍刀三尺一寸、銀、柄には金色燦然たる蘭花紋章に由緒深い十二章「日、月、星辰、山、龍、華蟲、宗彜（虎猿）、藻、火、粉米、黼（斧）、黻（弧）」及文字を表はした模樣を鏤め、鍔には喇叭に因んだ輪螺、傘、蓋、罐、魚長の彫刻といふ若き元首に應はしき華やかなもので、ある、新帝は三月一日の大典には此の寶刀を帶びられると洩れ承る

郊祭の盛典

新帝親しく天を祭る

新帝親ら天を祭り天意により即位さるゝ趣を報告され、國璽を受けられる郊祭の大儀は三月一日午前六時より昭天廣場の式場で嚴肅に執り行はれることに決したが、當日新帝は未明御起床、齋戒の上蘭花御紋章入りの自動車に召され、服裝美々しい儀仗兵宮内官を引具し、新裝成つた皇居長春門を御出門、沿道千余の日滿官憲の堵列嚴戒裡を長通路、大馬路を經て朝日通りを眞直ぐに大同大街に出、それより式場に向はれ、崇嚴裡に盛典を執り行はれる

大典關係豫算　二月三日閣議上程

帝政實施に伴ふ滿洲國政府關係諸事業の特別豫算は來る二月三日の國務院會議に附議審議を行ひ、四日の參議府議會において最後的決定を見る事となつた

あすいよく全市戸外デー

スケート祭や寶探しなど　皆さん西公園へ

健康第一！明二十一日は全滿一齊に戸外デーの催しがあるわが新京では地方事務所主催の下にスケート祭が當日午前十時から盛大に開催されるこの日は一般も學生も老女男女を問はず定刻を期してスケート靴着用の上でリンクに集合、面白い競技は行はれるが見物の方のために特に寶探しの催しがあり一等白米一俵を始め賞品百種を用意して大いに興を添へやうといふのである、スケート祭のプログラムは左の通り

一、開會の辭　野村社會主事
一、挨拶　荒木地方事務所長
一、戸外デー歌合唱　各學校生徒一般全員（商業バンド參加）

スケート競技

一　タイム競走　一回全員
二　兒童競走　二回、室、公
三　鮑コロガシ　三回、室、普
四　高女　兒童競走　四回、室　西、公、普
五　パン喰競走　四回、高、西、商、一般
六　兒童競走　三回、室、普
七　玉オシ競走　六回、室、西、公、普、高女一般
八　氷上ボートレース　一回、室、團体
九　兒童競走　三回、公、普
十　ドリブル競走　一回、
十一　スプーンレース　中學、團体　五回、室、西、普、一般
十二　フィガー模範スケーティング　一回
十三　橇引競走　二回　商
十四　提灯競走　高女一般　三回　普
十五　役員リレー　一回
十六　四〇〇米競走　二回　西、中學
十七　選手五〇〇米競走　二回、室、西對中學
十八　選手一六〇〇米リレー　一回　室對中學
十九　選手一五〇〇米競走　一回　室、西對中學

で最後の中學對各小學校聯合の對抗競技は最も興味を以て待たれてゐる

日滿聯合軍を編成　早大軍と對戰

滿洲遠征いらい各地で轉戰ホツケー試合において七戰七勝の早大氷上選手は新京に於て最後の強チームとして滿洲國附屬地の聯合軍を編成し兩者對抗試合をおこなふことゝなり二十日午後一時半から西公園リンクにおいて全市ファンの期待裡に對戰した

硝子戸を破り

新京百貨店を荒す　滿人の仕業らしい

市内日本橋通新京百貨店の東北入口の硝子窓に投石、破壞し内部に侵入し蓄音器部並に時計部、呉服部を荒してゐるを二十日午前七時ごろ店員が發見した被害は蓄音器二台時價四十五圓、金指輪一個三十五圓、オーバー一着三十五圓まんじゆう四十個である

直に新京署に屆出た目下同署で犯人搜査中であるが犯行の手口から推して犯人は滿人の仕業とにらんでゐる

体協陸上部　本年は遠征中止

新京体育協會内の陸上競技部では毎年奉天、撫順、大連方面に遠征し常に良好な成績を得てゐたが昨年早大の陸上競技部選手を聘して相當な費用を要したので本年は外部への遠征は中止する模樣である

人事往來

▲山西滿鐵理事　滯京中のところ二十日午前九時發ハトで離京
▲熙洽氏（財政部總長）十九日午前十一時着吉林から
▲松田管理處長（ハルビン特別區警察管理處）十九日午後三時二十五分着ハルビンから
▲石原大佐（關東軍戰車隊長）十九日午後四時三十分發公主嶺へ
▲韓雲階氏（前黑龍江省長）二十九日午後七時三十分着四平街から
▲齊藤鶴太郎氏（辯護士）十九日午後九時三十分新京國都ホテルへ投宿
▲曲子良氏（民政部總務司文書科長）十九日午後四時三十分發奉天へ
▲島本大佐（哈市憲兵隊長）二十日午前九時發奉天へ
▲鷹用曹長以下〇〇名（步兵〇〇〇隊）同上
▲原少佐（附屬地憲兵分隊長）二十日午前八時三十分發哈市へ
▲染谷保藏氏（本社代表盛京時報社長）二十日夜奉天へ歸る

街の日記

朝鮮人青年の厭世自殺

市内曙町三丁目高麗館止宿元鮮滿洋行店員李正常（二六）は二十日午前二時ごろ同家二階八號室で猫イラズを多量に服用し苦悶中を家人が發見し國都醫院に收容應急手當を加へたが生命危篤である、原因は鮮滿洋行を失職したため世をはかなんだものである

大上洋行　禮服申込

來る三月一日滿洲國皇帝即位御盛儀を控へて禮服作製に業者は多忙を極めてゐるが永樂町一丁目大上洋行では懇義ある參列用禮服を是非御下命をと各方面に案内し既に幾多の申込を受け盛裝行念な出來榮を見せつゝあるが大禮服、エンビ服、フロツク、スモーキング、モーニングの各種で引受期は二月十日迄納品は二十五日の豫定であり向一般禮服の修繕御手入をも爲す由である、因に同店の工場長裁斷師石留氏はかつて東京銀座大民洋服店に勤務し宮内省御用達として皇室御方の禮服作製に專念した優秀の人で往年の政客武藤金吉氏の弟である

新京日本基督教會集會案内

一、日曜學校　午前九時より
一、朝拜　午前十時十分より「驚異の生活」吉川牧師
一、夕拜　午後七時「基督教の社會生活」林曾氏
「未定」吉川牧師
どなたにても御聽を歡迎いたします

拾ひもの

▲滿洲日報配達夫張明三氏は二十日午前十一時ごろ地方事務所裏で赤皮製二ツ折蟇口現金六十一錢木印（田邊）を拾つた

落しもの

▲祝町二丁目石田ツモさんは十九日午後七時四十五分本橋通二十八番地利豐洋行から歸途土色皮製蟇口一個在中現金十二圓を落した

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替
倫敦銀塊 [illegible]　同先限 [illegible]　紐育銀塊 [illegible]　米英爲替 [illegible]　米日爲替 [illegible]　米支爲替 [illegible]　スチール株 [illegible]　アナゴンダ株 [illegible]

▲米市俄古小麥
現物　一月限　三月限　五月限　七月限　九月限　十二月限　五月限 [illegible]

▲印棉　七月限　九月限 [illegible]
ブローチ　オームラ　ベンゴール [illegible]

▲上海標金　昨止　高値　安値　本寄　歩値 [illegible]

▲上海日本向　第一回　第二回 [illegible]
▲上海倫敦向　買値　賣値 [illegible]
▲上海紐育向　買値　賣値 [illegible]
▲上海滙金建　賣値　買値　日本向　倫敦向　紐育向 [illegible]
▲大連金鈔票　現物　先限　寄付　歩値 [illegible]　出來
▲大連上海向　引止　高値　安値　出高 [illegible]　不申
▲大連煙台向 [illegible]
▲阪神日米爲替　第一回 [illegible]
▲阪神日英爲替　賣値　買値 [illegible]

各地市場

▲大阪株式　大株 [illegible]
▲同短期　大新　同新　鐘紡新 [illegible]
▲大連株式　大連新　東新 [illegible]　未着
▲大阪三品　五品　先限　錢鈔 [illegible]
▲大阪棉花　當限　二月限　三月限　四月限　五月限　六月限　先限 [illegible]
▲大阪期米　當限　先限 [illegible]
▲仁川期米　當限　中限　先限 [illegible]　未着
▲橫濱生糸　當限　中限　先限 [illegible]
▲神戶豆粕　現物　先限　當限 [illegible]
▲カルカツタ麻袋　一月限　二月限　三月限　五月限 [illegible]　青筋　綠筋　爲替　休會
▲大連特産　麻袋　現物　一月限　出來高 [illegible]

新京市況

●大豆　袋込　一月限　二月限　三月限　四月限　五月限 [illegible]
●豆粕　現物　二月限　三月限　四月限　五月限　六月限 [illegible]
●豆油　現物　二月限　三月限　四月限　五月限 [illegible]
●高粱　現物　一月限　二月限　三月限　四月限　五月限 [illegible]
特産現物　大豆　高粱　小豆　包米 [illegible]
錢鈔　鈔票對金票　現大洋對金票　國幣對金票　現大洋對鈔票 [illegible]

福岡縣人に告ぐ

恒例に依り左記の通總會兼新年宴會を開催致しますから奮つて御來會被下樣御案内申上げます
尚通知洩れ未入會の方も御誘ひ合せの上御出席被下樣御待ち致して居ります

一、日時　一月廿三日（正四時半）
一、會場　賓宴樓（東三條通）
一、會費　三圓也（當日御持參のこと）

福岡縣人會事務所
東二條通福信金融株式會社内　電話二五八九番

謹告

當會社取締役代表者五泉賢三ハ當會社ノ代表者ヲ辭任シ取締役エー、ケー、ブラウン當會社ノ代表者ニ選任セラレ候爾今當會社ノ提出スル納入見積書及代金受領書ニハ奉天本店ニ於テハ代表者エー、ケー、ブラウン及支配人アイ、アイ、コヴレフスキー又新京支店ニ於テハ代表者エー、ケー、ブラウン及支人配ピー、ヂエー、ヂンゾフガ署名致スヘク此段及謹告候也

昭和九年一月十八日
奉天千田通三十九番地
ユーナイテツドモータース株式會社
取締役　五泉賢三
取締役　エー、ケー、ブラウン

慶安異聞 艶魔地獄

（講談上演映畫化）

玉水三郎　（畫）長谷川小信

（百五十）

藥櫻の宮（六）

五人の武士は、三吉野の店へ入つた。上客と見てお粂と、お花は直ぐ茶を入れて、菓子器と共に持つて來た。

五人が五人とも、一目にして見通せる、水茶屋の隅々までも見廻して、何か物足らぬ顔でゐた。聽て其中の一人は口を切つて、お粂に向つた。

「今日はお八重が居らんの。何れへか參つたか」

お粂は氣の毒さうに、

「旦那樣、お生憎樣でございました。お八重さんは少し加減が惡いので、二三日休んで居ります」

「オヽ左様であつたか、近頃は惡い風が流行る。大切にせんと可かんぞ」

「有難ら存じます。もう癒りませうから、又近日お暇しを願ひます」

五人は物足らぬらしく、茶を飲み菓子を頬張つてゐた。

お粂は客を飽かすまいと、話題を探し出すやうに、

「旦那方は牛込の先生方でいらつしやいましたね」

「オヽ左樣ぢや」

「此前いらつしやいました折は、丸橋先生が御一緒でございましたね」

「如何にも湯島天神へ奉納の、槍試合の歸りであつた」

「あの丸橋先生が、槍のお師匠樣でございますか」

「オヽ本郷弓町に道場を構へられるお方ぢや」

蔭膳の陰に遠慮してゐた三平は丸橋と聞いて胸を躍らせた。それは十松を愛して、黄金を惠んで吳れた其人だからだ。

十松はお花と千代紙持つて、店の隅に遊んでゐた。其處へ三平は飛ぶやうにして來た。

「モシお花さん、私は今お噂の丸橋先生に、お目に懸りたいと思つて、未だ夫切りになつてゐるのですが、丸橋先生には近頃、駿府へお越しとの事でしたが、未だお歸りになりませんか、一つお花さんお尋ね下さいますまいか」

「はア可うございます。私あの中のお一人を知つてゐますから」

お花は氣輕に起つて行つた。五人の武士の中に入つて、お花は若いだけに、盛に喋舌り散らして、一同の機嫌を取つた。

けれどもお八重を缺いた、五人の武士は左ほど愉快さうでもなく、茶代を投げて歸つて行つた。

お花は跡片附けを濟ますと、三平の許へ來て、

「聞いて上げましたよ。丸橋先生は昨日お歸りになりましたと、それから月代のお瀧さんのお馴染の金井さんも、大阪までは行かず、駿府から引返して、乙も昨日お歸りだつたと言ひますから、又今日か明日には、月代へ金井さんの顔が見えませうよ」

三平は、此一事は便宜であると思つたが、お八重に關する不安は募るばかりで、女主お米の前へ出ると、

「內儀さん、兎も角今日はコレで御免蒙ります。お瀧さんに聞いた兄さんの家へ行つて見ます。何うも心配でヂッとしてはゐられません」

お米も道理と頷いて、

「御心配でせう。私も可愛がつたあの子の事ですから、心配でなりませんが、私の手では何う仕樣もありません。何うか少しでも手懸りがあつたら、早く知らせて下さい」

「ヘイ、もう一番に此方樣へは、お知らせ申す事に致します。では御免蒙ります」

十松を呼んで手を牽き、お粂お花には丁寧に一禮して、三平は急いで歸つてゐた。

一月二十一日　日曜日　壬辰　赤口　二十七日　平　廿二日　成宿

●一白の人　短才自ら事を過つ賢者の意見に從ふが安全　巳と庚と亥が吉
●二黑の人　斷崖に立ちて足元狂ひ膺に粟を生ずる如し　乙と癸と寅が吉
●三碧の人　目上に見放され物事亦思ひ通りに運ばぬ日　乙と庚と亥が吉
●四綠の人　過大なる望みを起して恒産をも失はんとす　乙と巳と庚が吉
●五黃の人　他念なく生業に出精すれば基礎益堅固なり　甲と壬と癸が吉
●六白の人　勇氣衰ふれば計畫も挫折す一層奮起すべし　丁と癸と寅が吉
●七赤の人　根氣好く從前の方針にて進めば大吉となる　丙と丁と癸が吉
●八白の人　溫健なれば次第に希望に近づく事を得る日　乙と壬と寅が吉
●九紫の人　運氣盛大にして美事なる發達を遂ぐべき日　庚と亥と寅が吉

滿洲帝國史の第一頁を飾る

待望の重大國策 いざ發表の刹那！

室内は息づまる緊張裡に ◇―鄭總理の朗讀

滿洲帝國史の一頁を飾る滿洲國重大國策の發表は二十日午後四時を期し國務院會議室において鄭國務總理から發表された

をフィルムにとるべく撮影班を据付け各社の寫眞班員も多數つめかけて室内は息づまるやうな緊張味をみせ、かくして四時一分前鄭總理は鄭禹秘書を從へ遠藤總務廳長、坂谷同次長、長尾警務司長、川崎情報處長等と共に靜かに入場この時カメラは一齊にレンズを總理にむける、鄭總理は所定位置について靜かに立ちあがり三千萬民衆待望の重大「國策」を朗讀、この間フィルムを通す音マグネシユームの爆音で室内は重苦しい空氣のなかにもはたゞしるをみせ四時四分朗讀を終るや期せずして拍手がおこりかくして意義深き國策の發表を終つた

この日會議室には新聞および通信「關係」の記者六十余名がつめかけ松竹はこの重要なる場面

は臨時ニユース放送を國務院で發表午後四時卅分から山崎アナウンサーが滿洲語で放送

續いて日本語で放送したいこの所要時間は約三十分である

感激的シーン 特に本社の號外もレンズに

松竹ニユース班活躍

三月一日御大典擧行に關する滿洲國政府の聲明は全滿三千萬民衆はもとより日本その他「海外」にまで知らせるため松竹「眼の新聞」ニユース班は設海の人にまで待望され發表の「を鶴首してゐたが、愈よ一月二十日午後四時、國務院會議室に於て鄭總理から發表さるるや、その劇的シーンを滿く三千萬民衆はもとより「海外」にまで知らせるため松

竹「眼の新聞」ニユース班は設劳刹那の感激的シーン、をレンズに納め、續いて、逸早く速報せる本社號外が「新京日日新聞社」と鮮かに書かれた白タスキを肩に街中を驅け廻るシーンを撮影、又本社速報の新聞や、市中に貼り廻された傳單を「撮影」したかこのフィルムは

二十一日夕刻内地に急送されまもなく松竹ニユースとして吾々の眼前に公開されることとなつた

兩國語で 放送

滿洲國帝政實施發表を全滿三千萬民衆及び在滿邦人に逸早く報導するため新京放送局で

崇嚴なる皇帝旗調製 廿五日ごろ到着

滿洲國新帝の皇帝旗は内地高島屋に於て調製中であつたが來る廿五日頃到着する筈でこの皇帝旗は横一米從〇、八米地は眞紅の赤色で中央に金箔の五辨の蘭花ありて旗竿は黒色、その尖端は圓形の金色三面に五辨の花辨にシベを配してある崇嚴なるもので執政旗は皇帝旗の周圍を白抜きとしてある

新帝即位に關する 佈告を發表

市政公署では傳單を撒布

滿洲國帝政實施以の皇帝即位に關する佈告は二十日午後四時發表さると同時に市中各所に貼られ五彩の傳單は各所に於ては二十一日早朝から市中に傳單を撒布し天命啓示の意義を民衆に宣傳したい尚省各縣に於ても同様佈告傳單を撒布した

各部の記念事業

三月一日の即位大典に當り、國家機構の大改革に伴ふ滿洲帝國統治の根本法たる政府組織法の改正、官制制定、同時にこの惠澤を全國民に頒つ意味で地方賑恤並に減税を行ひ又大赦、特赦、減刑、逆産復權等に關する諸法令を發布することになつて居り、政府各

機關においても新帝の心を心とし、夫々意義ある慶祝記念事業計畫を進めて居る

△外交部　國際親善を强調する新□國歌の高唱、在滿外國使臣を招待して大典慶祝大宴會を開催

△民政部　地方賑恤、窮民・孤兒、疾病者の救濟を行ふ

△文教部　即位の大典を永久に記念する國立圖書館及博物館の造營、奉祝頌詞の制定、高齢者及孝子節婦の表彰

△財政部　國有財産の整理、帝室財産の設定及減税並に國民生活に直接影響ある課價引下げ斷行

△軍政部　觀兵式並に觀兵式の擧行、軍心の作興

△交通部　大典記念切手スタンプ、繪葉書の發行

△司法部　大赦、特赦

△國都建設局　建國記念塔の設立

御召自動車近く到着

御大典用御召自動車、先導車供奉員乘用の自動車十台と警衞用サイドカー五台は既に内地に於て製作を終り、來る二十五日新京に到着する筈であるが御召自動車は乘降口ドアーに金色の五辨の蘭花を配し窓硝子は防彈硝子を使用した頗る美麗なものである

執政府の改裝極く御質素に

廿五、六日ごろ完成

御盛典を前にして目下執政府の改裝を急いでゐるが、現在の興運門の文字の下に双龍珠を爭ふ浮彫りがあるが、これは除去し入口に大なる暖簾の各々中央に蘭の御紋章を附ける極く御質素なもので現在の四本の圓柱はそのまゝ殘すが門の名稱は長春門と命名完成は廿五、六日頃となる模樣である

豫行演習は 二月廿七日

順天廣場に設けられる郊祭場の準備は遲くも二月廿日頃迄に全部完了し二月廿七日には執政の臨場を得て式典の豫行が行はれる事となつてゐる

滿洲の京都たるべく 大吉林の公園化

即位慶祝記念に離宮を建納

〔吉林國通〕既國の一路を辿りつゝある大吉林の出現に當へ、吉林市政籌備處では舊將末省公署へ隣接する大建物へ移轉以來各機關の內容充實に努めてゐるが、陣容調ふを待つて名稱も市政公署と改めて積極的に大吉林の建設に乘出さんとしてゐるが、今年度の市政工作としては

一、濠堤工程
二、公園設施
三、都市實施
四、埠地開發
五、市街修整
六、商場建行

等の諸要項を擧げてゐるが、中にも最も力瘤を入れてゐるものは市立公園であつて、護堤工程と共に豫算百二十萬圓といふ尨大なる計畫の下に設施されんとしてゐる

尚執政の皇帝即位慶祝記念に公園と共に松花江畔景勝の地をトして離宮を建納せんとする計畫も立てゐるので、實現の曉は山紫水明の古都吉林は名實ともに滿洲の京都たるべく市政籌備處の大吉林建設工作は十四萬市民の等しく待するところとなつてゐる

自動車事故 激減

タイヤーチエンの効め

昨年十二月までは明々として附屬地內で自動車の交通事故が發生してゐたが同事故に鑑み新京署保安係では附屬地內で運轉する自動車に對しタイヤチエンを常すことになり各業者が實施したゝめ自動車による交通事故は減少し本年に入り廿日現在で僅か一件しか發生を見ず當局ではタイヤーチエンの重要性に驚いてゐる

ここでも 電々會社非難

眞に驚くべき 電信電話業務取扱

總て官業時代よりも低下 全滿商工理事會で徹底的調査

滿洲商工會議所理事會は十八日營口で開催され新京からは大坪理事出席し當日の議題は

一、理事會權限問題の件
二、租税に對する鐵路運輸執照取扱の簡易化
三、會議所の刊行物分興方法
四、電々會社業務取扱に關する件
五、滿鮮各地會議所理事會開催
六、滿洲國設に支障を生ずる意見に關し注意喚起の方策
七、會議所會に關する件

で中でも電々會社の業務取扱に對しては一般の非難に鑑み各地において調査の結果を持寄つたところ、これを官業時代より見るに民業となり、總ての能率却つて低下し居り、民業は官業に比し能率を增進するものなるにこの結果は實に驚くべきものあり、依つて今後も引續き各地で實情を調査し次回理事會に報告することゝ申合せたが今後の成行については頗る注目されるものがある

なほ同日の理事會であげられた事務取扱非難のかずくは大要次の通りである

(一)電話器の故障に就して

A、電話器の文字板回轉器に故障を生じ通話が出來なくなつたところからこれが修繕方を照和八年十一月中旬に申込んだところ漸く九年一月初旬に入り修繕された

B、昭和八年十二月下旬電話器の室內移轉を申込んだところ漸く九年一月上旬に入り移轉完了せること

(二)市外線通話の取扱に關して

A、市外電話交換手の横柄にして不親切なること

B、滿洲國側電話との聯絡が交換手の怠慢不親切により圓滑に行はれざること

(三)通話料金に關して

A通話料金を一ケ月前納制度に改正せるごとは最も不都合なりと怨嗟されてゐる事

B通話料金を納めんとして偶々午餐時に行遇はせると係員は時間外と稱して受付けず或は納入時間に若し遅れた場合にも翌月同樣時間外と稱して受付けずしかも一方僅か二、三日の料金滯納者に對しては「通話停止」を云々して脅威を與へつゝあること

C、市外電話の通話告知書が單に料金總額のみ記載しあり通話先月日、その他の明細書きなきため電話を以て照會せるところ電話局に出頭し係員より聽取せよとの不親切極る回答をなせる事

(四)電報料金の釣錢に關して

A、電報料金を現金制度に改正せるに拘らず釣錢を切手をもつて支拂ひつゝあるは電々會社においては電報料金の値上當時値上は止むを得ざる事情にあればサービスを以て緩和に努むる方針なりと言明せるに拘らず依然として釣錢を支拂ふ場合は切手をもつてし現金を要求するも現金なしとて支拂はざるは電報料金が現金制なるが故に矛盾も甚しく常に釣錢用小錢を準備し居らざるは言明せるサービス云々に相反するものなりと謂はれてゐること

(五)電報の電話托送に關して

A、不馴れの者を使用しつゝあるため手間取り全く電話托送の便宜を受け得られざる實情にあること

(六)電報に誤字の多きこと

近時電報に誤字多きため往々の間違ひが起つて居る一二の例を示せば電文の誤りにより送金の單位に相違を生じ或は牛を注文したるに馬を送り來れる如きは其の著しき例である

出鱈目はまだ〳〵ある

故障、横柄、誤字、不親切等々

昨年中の航空郵便數

新京郵便局が昨年中に取扱つた航空郵便物は通常三萬二千三百八十通（引受一七、〇六三通、配達一五、三一七通）小包二千七百三個（引受一二六個、配達二、五七七個）でこれを月別にみると次の通りである

通常

月	引受	配達
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]
三月	[illegible]	[illegible]
四月	[illegible]	[illegible]
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]

小包

月	引受	配達
一月	一	[illegible]
二月	八	[illegible]
三月	七	[illegible]
四月	四	[illegible]
五月	八	[illegible]
六月	三	[illegible]
七月	九	[illegible]
八月	四	[illegible]
九月	一〇	[illegible]
十月	九	[illegible]
十一月	二〇	[illegible]
十二月	二三	[illegible]

庭球の ナンバーワン

新京篇の巻（四） 貨物掛所 中村仁氏

現在の新京體育聯盟庭球部を背負つてゐる人――それは中村仁大串常次の兩氏であるい張りきつたチツトの上に白球をえがいて飛びくる熱球、これをストツプしてよく敵の急所をつく中村氏の腕の冴、けだしこれは氏の最も得意とする技で流石に千軍萬馬の古武士であるスマツシングはどうもうまくあたりません、學校を卒業するまでは五年間ずつと後衛をやつてゐたのですが學校を出た年からどうした調子か急にあたりが惡くなりいたまく當時新京には前衛の人が少かつたので前衛にかわり昭和四年以來大串君と組んでやつてゐますがなかなか思ふやうにはあたりません、昭和四年には全滿軍として京城に遠征し昨年は九月から十月にかけてこれも全滿軍で台灣に遠征しましたがあちらは當地のやうにコートがコンクリートでなく球のバウンドする調子が全然ちがふので隨分苦戰しましたが得る程の成績ではありませんでしたが、本年の全滿都市對抗には是非優勝したいものと思つてをります、硬球はまだやりません、こゝでは硬球をやる人はまだあまりないやうですから

氏は新京商業の卒業生で同校庭球部の全盛時代をよく首將として支へ在學四年生の時は既に全新京の選手として各地に轉戰しその技を大いに嘱望されて全滿庭球界のナンバーワンとして當時から刻印をおされてゐるのである

早大遂に凱歌

全新京聯合軍奮戰効なく涙を呑む

夕刊既報、早大對オール新京のホツケー試合は廿日午後二時半から開始されたが一時すぎには早くもフアンが西公園へと押かけて一時半には前日よりはるかに觀衆がふえやうやく試合は開始されリンクを圍む觀衆からおこる歡呼の聲も盛んに試合はますく白熱肉迫戰を演じまづ新京軍が一點をあげた、早大軍はいよく奮戰して一點續いて三點、合計四點その間新京軍は得點なく三時五十分終了した

川崎司長の放送

外交部宣化司長川崎寅雄氏は二十一日午前十一時四十分から躍進する滿洲と題して新京放送局から日滿兩國に放送する

現役憲兵を採用

國内警備機關の擴充を目標とする民政部警務司は曩きに日本警察官招聘すべく手續きを完了したが、更に現役憲兵を各縣の警務指導官として配屬する事となり、十九日關東憲兵隊管下より准士官以下十五の採用方を希望して來たので、憲兵隊司令部では直ちに其旨を管下各隊に示達する處あつた、向ほ決定せる現役憲兵は二月一日正式に滿洲國入を認し、三月一日迄に各縣に分駐する筈である

ラジオ欄

二十一日(月曜日)新京

午前十一時四〇分講演（全滿並日、國十圖）躍進する滿洲國　川崎寅雄

午後五時〇分子供の時間お話　天津小羊

同　五時三〇分演藝（鮮語）

同　五時五〇分ニユース（鮮語）

同　六時〇分ニユース（東京より）

同　六時二〇分ニユース氣象通報

同　六時三〇分日曜講座滿洲の歴史、新京高等女學校　森下直記

同　七時〇分演藝（鮮語）蓮香班二鳳

同　七時三〇分講演（滿語）大同門外人と帝制運動　奉天順治員　王希哲

同　八時〇分ニユース氣象予報プロ予告（鮮語）

同　八時三〇分時報（東京より）

同　八時三一分ニユース（東京より）

同　八時四五分時事解説（鮮語）在滿朝鮮人の教育問題に就て

同　九時〇分演藝　新京普通學校　鄭恒　（奉天より）

[写真キャプション] 重大發表の瞬間　上右は發表する鄭國務總理、左は遠藤總務廳長、下は新聞記者團

米紙が報ぜる
ムッ首相ステートメント内容
旺んに日本に毒づく

【サンフランシスコ十九日發國通】十四日米國サンフランシスコ、エキザミナー紙及びその他の新聞は十三日ローマ發電報として、ムッソリーニ首相のステートメントを大々的に掲載して居るが、その大要は左の通りである

十二月十九日モスクワに於けるリトヴィノフ氏の演説は極東の事態に對する警鐘にしてシベリア國境に於ける脅威の實在を語るものだ思ふに日ソ兩國の戰爭の危險は支那及び米國のみならず直接間接に英國、イタリー、オランダの各國にも關係があり、日本は今や危險なる帝國主義時代であり、即ちその産業機構は西洋文明諸國のそれを羨むところ無き迄に發達し國民は攻勢的犧牲精神に富み、武力至つて旺盛である

支那は目下日本の武力的好餌たるが如きも近き將來に於て協力統一ある國家となるべく白人文明の極東征覇太平洋の運命は今後百年の支那の進展により定まるであらう、將來日支の融合を假定するはあながち不合理ならず、而してその一致が友歐的友米的たらざるを誰が證し得やう、米露會商は道徳的性質を帶びた日本に對する警告なるも、日本に對する米露の提携にあらず日本は世界の輿論の重壓に感ぜざる國民なり、東洋の急速唐突なる西歐への接近は西歐人に脅威の念を與へ黄禍論は昔程時代錯誤の感を與へない、今日政治軍事的黄禍は無きも日本の經濟的戰爭は世界の市場へ進出して來た、黄禍を單なる現象に終らしめん爲には白人西歐諸國の政治的協同及び東西文明の調停を試みざるべからず

在伊大使から注意
外務省當局談

【東京二十日發國通】ムッソリーニ首相の聲明に關し外務省當局は十九日午後左の如き當局談を發表した

ムッソリーニ首相が如何なる場合にあの樣なステートメントを發表したか分らぬが、その動機に就ては略々想像がつく、當地のイタリー大使館は去月二十二日ローマで開催されたアジア學生大會の會式に於けるムッソリーニ首相の演説が二三の英國の新聞紙に殊更に反日的支持論の如くに書き立てたとて特に日伊兩國の親交の爲に十七日當地新聞に右演説要綱を釋明的に發表して居る樣であるが、今回米國新聞に現れたムッソリーニ首相のステートメントよりみればムッソリーニ首相の心中が那邊に在るか推定せられる

ムッソリーニ首相は我國民の間に尠らざる憧憬者を持つてゐるにも拘らず斯る目前の國際利害關係の爲に多年の友邦たる日本に對し毒つく事は甚だ惜しむべきである帝國政府としては多分在ローマの大使をして同首相に注意を喚起する事となら う

水道凍結豫防
その他に就て
新京地方事務所水道係で發表

近頃水道管の凍結事故が頻々たるものがあり、地方事務所水道係でも惱まされてゐるが、これが豫防その他について當局では左の如く發表した

寒氣のため最近急に水道管の凍結並に破裂が頻出しますが之は要するに室内の温度が著しく低下する關係でありますから、ある程度まで室内の温度を保温することは極めて肝要であります、目下之が豫防法として電氣會社で試驗中の電熱裝置は最も效果的であつて、加之料金も安價でありますから是非御試用下さるやうお勸めします、なほ凍結又は破裂せる場合の應急的措置を簡單に申上げますと

一、凍結せる場合

この場合の融解としてはまづ凍結せる管を炭火等にて遠くより漸次暖め、一時に熱湯を掛ける樣なことは禁物であります、而して普通の場合は一時間乃至三時間にて解氷出水に至るものでありますがそれでも出水せない場合は會社の指定請負人（市瀬工務所電話三二五二 四八八六）に要求して下さい（その場合は相當高價なる解氷料金を要します）

二、破裂せる場合

この場合は迅速に會社の指定請負人（市瀬工務所）に修繕要求するの外は謂ふまでもありませんが、一時的應急策として破裂箇所が鉛管の場合は小槌樣のものにて輕く叩き更に綿布類にて固く卷き付けます、また瓦斯管の場合は甲止水栓（室內最下位に在る水を止むる裝置）にて閉鎖するか、又は前記の如き綿布類にて固く卷き付ける時はある程度迄漏水を防止することが出來ます

三、其他

新京水道專用栓は現在約四、九〇〇餘にて夏季に於ける修繕件數一日約一〇件なりしに比し現在は二〇〇餘件に及び、日滿職工六〇餘名を專屬するも尙工事進捗せざる狀態でありますからこの際特に凍結防止に就き充分の御留意あらむことを切望いたします

オリンピック―を目指す（二）
スポーツ滿洲國の躍進
國際競技會參加運動の經過
滿洲國體育協會　久保田完三

一、概況

新興國の建設工作が着々進捗して東亞の一角に立つ桃源樂土滿洲國の興隆に歩を向けたる建國の春初め、舊軍閥秕政に毒せられたる我國體育界も亦勃興の機運に際し、王道スポーツの理想に創設せられたる滿洲國體育協會は早くも玆に國際オリムピックへの參加運動を企圖するに至つたのである

かくて我協會は大同元年五月二十日北米羅府第十回オリムピック組織委員會に滿洲國參加方を正式に電請すると同時に滿洲國體育協會創設以來絶大なる理解と援助を寄せられし大日本體育協會（オリムピックに對して日本國內オリムピック委員會を代表す）會長故岸清一氏に對し之が援助を依頼するところあり

註　國際オリムピック委員はオリムピックより委任せられた、國際委員にして加入國を代表する委員にはあらず日本に於ては加納治五郎氏亦該委員なり

氏は公務多端なるにも拘らず之を快諾せられ尋いで日本體育界亦挙つて支援に努め、本運動は愈よ熾烈を致せり

而るに本運動が一度全般に知らせらるるや支那體育聯盟（國內的には全國體育共進會の名をもつてしてゐる）のとりたる態度に對して、我等は敢然立つて其の卑劣を糾彈すべき事實を見た

即ち彼は皮肉にも我國が推薦せる二名のアスリートをそのまま支那の代表として發表したのである、而も彼はその一名なる我選手于希渭に對して秘密電報をもつて支那代表選手として參加せしめんことを懇勸せるなり

この事實を如何に見るべきか支那はスポーツを國家政略の俎上に上げたのである

スポーツ界に政治的色彩を全然排除せる汎國際アマチュアースポーツ道德の不文律させるところ國際間のスポーツが麗しき親善の別世界を形成せる所以も此處に存するものである、我等は支那に對しスポーツを通しあらゆる感情を放棄して融合親善の契盟を結ばんことをこそ望むものである然るに何事ぞ、彼は明かにオリムピック大會に對し滿洲國の參加を排斥し、卑劣なる反スポーツ精神による態度に出でた、是れをオリムピックの組織より見るに、一國の參加形式に關し嚴密なる國家の定義を下してはゐない、一つの國家は競技を戰はす一單位にのみ過ぎない、實に參加の認容は國際オリムピック委員會に於て處理するものであり、國際オリムピック委員會は何等國際的政治に參與するものではないのである、參加國を單位として構成せられたる各オリムピック委員會（協會又は聯盟組織を以て之に換ふることを得）が集つてオリムピックを組織しその最高委員會が即ち國際オリムピック委員會である、之をフイリッピン、キューバの如きに見るも國家の體を有せざるものに對してもオリムピックに於て認めてゐるには非ずや支那が滿洲國のオリムピック參加を國家的承認の前提と誤見せるは甚だしき謬見にして國際的爭鬪の渦中に本問題を引き入れんとする彼の態度は神聖なるべきスポーツ精神を沒却せる暴慢なる冒瀆と見るべきである

民族的觀念を離脱し國境的牆壁を超越して世界大同平和に貢獻せんとするオリムピックの毅然たる牙城に反逆を翻へせる支那體育聯盟の妄動に對し、我等は茲にその猛省を促して止まるものである

註　于希渭選手は現在職を文教部に奉し體育事務を擔任し滿洲國體育發展の爲精勵しつつあり

彼は支那の策動に憤慨し、欣然滿洲國の推薦に應して當時金州の田園に獨り孜々として練習を續けてゐたのである

その間南京特電は彼が逃走せりとの虛報を傳え又は滿洲國に監禁せられたりと宣傳せるも、彼は恩師岩間德也氏（現在文教部督學官）に一切を相談してその鐵石の決心を披瀝してゐる、彼が新興滿洲國に彼の使命を認識し、アマチュアースポーツ精神を飽く迄確保せるその心中の公明正大なるに對して我等は無限の感謝と讃嘆を惜まざるものである

寄附

地方事務所住宅係主任牧島氏は大連本社勤務の爲め西廣場小學校父兄會へ子供の在學記念として金十圓を寄附

エチオピア帝國
若き皇子の
配遇者候補

【東京國通】エチオピア帝國の若き皇子アベバ殿下の配遇者に就き、昨春から詮衡されて十人の候補者推薦されたが、第一候補に黒田正子、第二候補に田端芳子孃が選定された黒田孃は廿三歳、子爵黒田廣志氏の次女、關東高女出身で田端孃は廿四歳門司市幸町田端龜太郎氏の三女で京都女學校出身、尙結婚式は四月頃首府アヂスアベバのキリスト教會で擧行の筈

四平街
乘客は强盗
忽ち早變り

十七日午後六時五十分頃四平街北四條路居住の乘用馬車第三十六號馭者閻火振（二十二）は四平街滿洲街南三條路々上に於て客待中二人連れの滿人が義和順外校迄行くと稱し乘車し義和順外校前に到るや尙北行すべく命じ守備隊練兵場北方へ行き附屬地外に到りたる時突然乘車中の一名が背後より馭者を捕へ他の一名はモーゼル拳銃を擬し閻を脅迫の上馬車及馬二頭を强奪逃走した

警察官資格試驗

十九日午前八時から四平街署に於て警察官高等科生入學資格試驗が實施されたが受驗人員は約三十名であつた

海の外から

□テキサスの山腹に世界第二の大望遠鏡

米國クリーブランド在住のワーナー及びスワセー兩氏はテキサス大學の注文依頼を受け予て大望遠鏡を製作中であつたが此の程完成學校當局の引き取る所となつたが型体裝備の點で世界第二の大物なること判明、近くテキサスの山腹上コンクリート台に据え付けられ威容を誇ることとなつた

□本春處女航海に上る洋上の女王ノルマンジー號

本春早々處女航海に上るべく目下建造を急いでゐるフランス汽船ノルマンジー號は太西洋上の王座を占むる優良汽船であるが同汽船に備へ付ける方向舵の如き、長さ五十六呎の大物が此の程完成された

□冬のダヴオス賑ふ

スウキスのアルプス山脈中に在るダヴオスの町は海拔一六〇〇乃至一八〇〇米の高處にありて空氣と光線に惠まれたる點に於て理想的高山療養地として目下老幼男女で大賑ひをしてゐるが冬の一週間は夏の一ヶ月の療養効果を有し一日中二時間は無風温暖となり雪中で裸体々操を行ひすフラみの花の香に醉ふさいふ結構な場所柄である

□湖畔が祈りの世界

印度アブ山上のナッキー湖畔は毎冬ヒンヅー教徒祈りの修來地として有名であるが此の程小祠も出來上つたので午餐の前には必ず水浴身を清め神を讃え卅四年度を祈る教徒で目下押すな押すなの盛況であると

日本の聖女
(上演劇)
生田葵
南部僑一郎 畫
二八
切支丹と岩倉と西郷
(四)